

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回上尾市地域創生総合戦略審議会		
開 催 日 時	令和7年5月29日(木) 10:05~10:57		
開 催 場 所	Web会議(Microsoft Teamsを利用)		
議長(委員長・会長)氏名	上尾市地域創生総合戦略審議会 会長 佐藤 徹		
出席者(委員)氏名	佐藤 徹、本田 直子、内田 富美代、福岡 大介、 高橋 吉博、藤倉 利則、益川 昭寿、島津 秋男、井上 淳子、 樋口 敦、坂田 直人		
欠席者(委員)氏名	後藤 和史、高橋 萌香、金子 一夫、小池 佑弥		
事務局(庶務担当)	行政経営部長 堀部 弘幸、行政経営部次長 本郷 美代子 行政経営課長 角田 広高、行政経営課主幹 福島 雅也、 行政経営課副主幹 沢辺 司、行政経営課主任 橋本 香菜子		
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果	
	1 開 会 2 会議の公開について 3 議題 ① 定住アンケート報告書について ② 次期総合戦略の基本的な視点や構成等について ③ その他 4 閉会	報告・説明と質疑応答	
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍 聴 者	1人
会 議 資 料	別紙のとおり		
議事の内容・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和 7 年 6 月 26 日 議長(委員長・会長)の署名 <u>佐藤 徹</u> 議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)			

議 事 の 経 過

司会 (本郷次長)	1 開 会 皆様、こんにちは。定刻になりましたので、令和7年度第1回上尾市地域創生総合戦略審議会を開会させていただきます。本日の司会を務めさせていただきます行政経営部次長の本郷と申します。よろしくお願いいたします。それでは初めにオンライン会議でご協力いただくため、簡単なルールを2つお話したいと思います。まず1点目でございますが、発言する方以外は雑音が入らないようにするためにマイク機能をオフにいただければと思います。2点目でございますが、ご発言又はご意見いただく時は、挙手、もしくはリアクションボタンの「挙手」を押し、マイクをオンにいただき、氏名を名乗り、案内されてから発言するようにお願いします。ご協力のほどよろしくお願いいたします。 それでは、会議に入らせていただきます。本日の審議会では10名の委員さんに出席いただいております。 本審議会は、条例第6条第2項の規定に基づき、委員の過半数の出席（8名以上）がありましたので、有効に成立していることをご報告いたします。 まず、今回初めてご出席いただく委員をご紹介します。埼玉そな銀行上尾支店支店長の福岡大介様でございます。福岡様、自己紹介をお願いします。 福岡委員 (あいさつ)
司会 (本郷次長)	ありがとうございました。
司会 (本郷次長)	2 会議の公開について 次に、「会議の公開について」事務局から説明いたします。
事務局 (角田課長)	本審議会につきましては、「審議会等の会議の公開に関する指針」に従いまして、同指針策定後の初めての審議会において「原則公開」ということで採択されております。 本日傍聴は1名いらっしゃいます。ただいまから傍聴者に入場していただきます。それでは傍聴の方をお願いいたします。お配りした傍聴要領を遵守していただき、会議のスムーズな運営にご協力をお願いいたします。
司会 (本郷次長)	それでは、条例第5条第2項の規定によりまして、今後の進行は、佐藤会長にお願いします。
佐藤会長	3 議題 はい。皆さんこんにちは。本年度も引き続きよろしくお願いいたします。それでは議題に入ります。次第をご覧ください。まず、議題の1つ目、「定住促進アンケート報告書について」です。前回の審議会では委員の皆様にご審議いただいたアンケートの集計結果がまとまったということです。事務局よりご説明をお願いいたします。 事務局 (角田課長) はい。事務局よりご説明させていただきます。 4月から行政経営課長となりました角田と申します。よろしくお願いいたします。

たします。議題 1 は、昨年度実施した定住促進に係る市民向けアンケートの集計結果についてご報告するものでございます。

はじめに会議の資料につきまして確認させていただきます。

1. 次第
2. 資料 1 定住促進アンケート結果
3. 資料 1-1 定住促進アンケート報告書（転入）
4. 資料 1-2 定住促進アンケート報告書（転出）
5. 資料 1-3 定住促進アンケート報告書（転入資料集）
6. 資料 1-4 定住促進アンケート報告書（転出資料集）
7. 資料 2-1 第 3 期上尾市地域創生長期ビジョン総合戦略の視点や構造（案）
8. 資料 2-2 第 3 期上尾市地域創生長期ビジョン総合戦略人口の将来展望基本的な視点や構成について

このアンケートは、上尾市地域創生総合戦略に基づき、転入された方、転出された方のご意見を今後の市政運営に役立てるために実施したものでございます。昨年 3 月から 8 月の 6 か月間に転入・転出した方のうち、転入は世帯主 1,500 人、転出は世帯主 1,974 人にアンケート協力の依頼を発送いたしました。アンケートの様式は、転入された方向けが資料 1-3 定住促進アンケート報告書（転入資料集）の 38 ページ、転出された方向けが資料 1-4 定住促進アンケート報告書（転出資料集）の 40 ページに掲載しております。資料 1-1 から資料 1-4 までと合わせて後ほどご覧いただければと存じます。

それでは、資料 1 をご覧ください。こちらは、令和 2 年度、令和 4 年度、令和 6 年度に実施したアンケートの結果をまとめたものでございます。1_結果のまとめとして、アンケート結果の概要を記載しましたのでこれによりご説明したいと存じます。

まず、回答方法でございますが、令和 6 年度は Web 回答、希望者には郵送で対応いたしました。令和 4 年度と令和 2 年度は郵送と Web 回答で実施しました。対象者は、令和 6 年度と令和 4 年度は全ての年齢、令和 2 年度は 20 代から 40 代のみを対象としました。これにつきましては、1 ページの下段の「2_回答者」をご参照いただきたいと思います。と存じます。

次に 2 ページの「勤務先」でございますが、勤務先は上尾市内、さいたま市、東京都の割合が高く、令和 2 年度と傾向は変わっておりません。なお、令和 4 年度につきましては、勤務先を問う設問はございませんでした。

3 ページの「4_居住地域」をご覧くださいと、転入前の居住地、転出後の居住地は、さいたま市、東京都が多く、こちらにつきましても令和 2 年度、令和 4 年度から傾向は変わってございません。

4 ページの「移動のきっかけ」でございますが、転入・転出いずれも「仕事の都合」の割合が高く、各年度の設問項目が同じでないため単純な比較はできませんが、各年度とも「仕事の都合」、「住宅の都合」、「家庭の都合」の割合が高い結果となっております。

5 ページから 7 ページの「移動先を選んだ理由」でございますが、「住宅に関する理由（住宅の価格が手頃であった、物件が気に入った）」、「通勤・通学の利便性の良さ」の割合が高く、令和 2 年度から傾向は変わってございません。「転出先を選んだ理由」としましては、「通勤・通学の利便性」と「親族が住んでいる」の割合が高く、こちらについては、令和 4 年度と同じ傾向でございます。令和 2 年度は、「通勤・通学や交通の利便性」に次

	いで「住宅価格、家賃」の割合が高い結果となっております。 8 ページの「居住形態」でございますが、転入後・転出後いずれも賃貸の集合住宅の割合が高く、令和2年度から傾向は変わってございません。 最後 10 ページの「8_転入のきっかけとなった上尾市の取組」、「9_上尾市との取組で知っているもの」でございますが、「転入のきっかけとなった取組はない」と回答した方が 92%で、転入者のほとんどが上尾市の取組以外の理由で転入してきており、上尾市の取組の中で、転出者・転入者いずれもシティハーフマラソンの認知度が高いという結果になりました。 なお、資料 1-1 定住アンケート報告書（転入）の 32 ページから 43 ページ、資料 1-2 定住アンケート報告書（転出）の 30 ページから 37 ページまでに自由記述でいただいたご意見を掲載しておりますので、後ほどご覧いただければと存じます。 概要となりますが、定住促進アンケート報告書についての説明は以上となります。
佐藤会長	はい。ありがとうございます。資料 1-1 から資料 1-4 については事務局からの説明はないということですのでよろしいでしょうか。
事務局 (角田課長)	資料 1-1 から資料 1-4 の説明は特になく、資料 1 で概要を説明させていただきました。
佐藤会長	それでは、あとで質問があれば、質問に対する回答の中で必要に応じてご説明いただければと思います。 ただいまの事務局の説明につきまして、委員の皆様からご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。挙手ないしは挙手ボタンで反応いただければ指名いたしますので、よろしくお願いいたします。高橋委員お願いいたします。
高橋委員	意見と質問を 1 点ずつさせていただきたいと思います。資料 1 の上尾市がなぜ選ばれたかについて。特に理由はないけれども住宅の理由というのがあって、自分も東京駅からの埼玉県、千葉県、神奈川県との距離で、土地の価格を調べたことがあります。上尾市はリーズナブルですね。そういうところで選ばれているのではないかと思います。当然これは行政の方もそのように考えていると思いますが、正直私も上尾市に長く住んでいて、あまり名産がないとか思っている中で、隣にさいたま市があって、東京都に出るのに凄く便利な場所ということで選ばれているのではと思っています。これは意見です。 もう 1 点が、資料 1-1 と資料 1-2 の自由記述欄を見まして、結構な割合で可燃物以外のごみの回収頻度が他市と比べて少ないという声が凄く挙がっていたので、間に合っているから増やす気がないということかもしれないですが、これだけ意見が出ていると何か対応してあげられないのかと思ったので、ご回答をお願いします。
佐藤会長	ご質問、ご意見 1 件ずついただきました。事務局からリプライをお願いいたします。
事務局 (角田課長)	事務局としましても自由記述に書かれたご意見につきましては、把握しております。審議会の前に行った庁内の本部会議でもこのようなご意見が

	あるということは説明しており、今後市として考えていかなければいけないのではないかという問題提起と認識の共有を図っているところでございます。
佐藤会長	高橋委員よろしいでしょうか。
高橋委員	はい。ありがとうございます。
佐藤会長	他にございますか。では本田副会長いかがですか。
本田副会長	住環境の問題と交通手段で、ぐるっとくんの本数が少ないという問題があるとアンケートで意見が多かったようですね。そこに対する考え方や方針はありますか。
事務局 (角田課長)	先ほどのごみのご意見と同じように、自由記述でいただいたご意見につきましては、庁内で問題提起と認識の共有をしており、今後どうしていくか考えていかなければいけないというところで、認識の統一を図っているところでございます。
事務局 (本郷次長)	補足させていただきます。長年ぐるっとくんの本数が少なく不便という意見がありましたので、今年の4月からダイヤの見直しと便数の増便を行っております。今回のアンケートは、便数が増える前に行ったもののため、4月1日に変わってからの状況を見ていきたいと考えております。
佐藤会長	本田委員よろしいでしょうか。
本田副会長	はい。
佐藤会長	他にご意見ご質問等ありましたらお願いします。前回の審議会でも大変活発にご議論いただきまして、様々な提案やご意見をいただきました。それを踏まえて、今回のアンケートでは調査票に反映させ調査・集計を行ったものです。今回初めてご参加の方もいらっしゃると思いますが、改めてこのアンケート調査の目的というのは前回の審議会でも事務局から説明があったように、定住促進効果の検証と今後の方向性を明らかにするというのがメインの目的でした。 島津委員お願いします。
島津委員	資料1の10ページ、8_転入のきっかけとなった上尾市の取組の中でその他がございすけれども、その他の理由が分かれば教えていただきたいです。
佐藤会長	いかがでしょうか。事務局リプライをお願いいたします。 これは資料1-1の27ページに記載されている内容を指すのでしょうか。
事務局 (角田課長)	資料1-1の27ページ、Q21がその他の内容でございます。
島津委員	わかりました。ありがとうございます。

佐藤会長	高橋委員どうぞ。
高橋委員	前回の審議会の時に私の意見を取り入れていただいて、転入先の住所を調べるのに郵便番号7桁を使うということをやったと思うのですが、その効果がどうだったか教えていただいてもよろしいでしょうか。転出先も郵便番号で答えたら書いてくれやすいのではという話で採用された気がします。
事務局 (橋本主任)	郵便番号で答えていただいて、確かに答えやすかったのではという印象はあります。ただ、集計をする際に、例えば上尾市から転出された方で上尾市の郵便番号を書いてほしいところを違う郵便を書いてしまったり、転入された方が転入前の郵便番号を書いてしまったり等、いくつか書き間違えがあったので、一定数の効果はあったと思いますが、聞き方を工夫しないと書き間違いが増えてしまうという印象がありました。
高橋委員	ありがとうございます。
佐藤会長	他にございますか。大変貴重な資料と思われるので、いかがでしょうか。 他にご質問ご意見がないようでしたら、私からよろしいでしょうか。まず、このような形で今回集計をしっかりといただいて、大変貴重な政策情報がまとめられたことに敬意を表したいと思います。ありがとうございます。 その上で、例えば先ほど指摘された資料1-1 転入の方を見ていくと、21ページ「Q18 転入先に上尾市を選んだ理由は何ですか」ということで、複数回答ですが、住宅のことや親族が住んでいることはかなり大きい要因であり、上尾市の総合戦略と直接的に関係ない外部的な要因であって、むしろその下の部分10番の選択肢「スポーツ施設が充実している」が0.3%となっている。その下の11番目「子育て施策の良さ」が1.3%、12番目「災害に強いまちづくり」が2.1%、「子どもの教育環境の良さ」が1.6%、「市の情報伝達の良さ」が0.3%、21番「市内のイベントが魅力的」が0.3%ということで、これらが移住・定住に関する取組に関連した内容だと思います。これらが数%になっているので決して高いとは言えない。特に上尾市はスポーツに力を入れているわけですし、子育てや教育にも力を入れていて、そういう自治体を標榜している。同じ資料1-1の27ページQ20 転入のきっかけになった上尾市の取組はありますかというところを見ても、選択肢の中で「転入のきっかけとなった取組はない」が最多で91.6%になっている。このあたりをどう今後の総合戦略や総合計画に活かしていくのか、施策や事業の検証・改善にどうつなげていくかというのが、この調査結果から見えてきたことだろうと転出のアンケートと比較してみればわかります。 転出の方では、今お話しをした子育てや子どもの教育関係、環境の良さというのは転入よりも転出の方のポイントが高いですね。そういうことは、上尾市よりもよりも比較優位な相対的にみて子どもの教育環境が良くて、子育て支援にとっていい自治体に転出したとも推察されます。そのため、このあたりどう解釈していくのか。政策的なインプリケーションと言いますか、こういった政策的な示唆が得られたかということも今の段階で

事務局 (角田課長)	は、この資料の中には明記されていなく、説明もなかったですけども、これはいつか何らかの形で市の見解が出されるのか。今後結果の活用のプロセスはどういう風になるのでしょうか。
佐藤会長	こちらの結果につきましては、交通の利便性や住宅の理由で上尾市が選ばれているということは認識しておりましたが、きっかけとなった市の取組がないという回答がここまでの割合になることは考えておりませんでした。このような結果をいただいて、会長からも話がありましたが、総合戦略に係る部分で言いますと、子育てや防災については、引き続き総合戦略の中で盛り込んでいかなければならないと考えております。また、転入された方が満足していただけるような施策を市としても今後はしていかなければいけないという認識ではおります。 もちろん次の総合戦略や総合計画にも当然その子育て支援や子どもの教育環境の充実に関する施策や事業を盛り込んでいくというのは当然ですが、それはこれまでも行ってきたわけで、その内容が変わらなければ、おそらく改善がされないのではと思うし、このあたりを重点的に取り組むような資源配分も考える必要があるのではないかと思います。非常に重要なポイントだと思いますし、今回この調査結果で、明確になったことですので、ご検討いただければと思っております。 他にいかがでしょうか。よろしければ次に進めても構わないでしょうか。それでは、議題の2つ目です。「次期総合戦略の基本的な視点や構成等について」事務局よりご説明をお願いいたします。
事務局 (角田課長)	議題2につきましてご説明いたします。資料の説明の前に地域創生長期ビジョンと地域創生総合戦略について改めてご説明させていただきます。長期ビジョン、地域創生総合戦略はいずれも平成26年に制定された「まち・ひと・しごと創生法」いわゆる地方創生に基づくものでございまして、長期ビジョンは、地域の人口の現状と将来の展望を示すもの、総合戦略は、長期ビジョンで示された人口の将来展望に基づき、地域における人口減少対策やまち・ひと・しごと創生の実現に向け、今後特に注力していくべき政策を示すものでございます。本市の場合、総合戦略は最上位計画である総合計画との整合性を確保し、総合計画で中長期的に目指す各種取組のうち、特に人口減少の緩和に貢献しうる施策に絞ってまとめております。現行の第2期上尾市地域創生総合戦略の計画期間が令和7年度で終了となりますことから、令和8年度からを計画期間とする第3期総合戦略と、その前提となる第3期長期ビジョンを策定する必要があり、本日は次期長期ビジョンと総合戦略の策定に向けた基本的な視点や構成等についてご説明するものでございます。 それでは資料2-1をお願いいたします。1ページ目に次期長期ビジョンと総合戦略の視点や構造をまとめておりますので、これによりご説明いたします。まず、長期ビジョンにつきましては、将来人口推計はこれまでと同様にコーホート要因を用いて5年ごと5歳刻みの推計を行ってまいります。人口動向分析将来人口の基礎データにつきましても、概ね現行のビジョンに準じて掲載してまいります。合計特殊出生率は右側に図がございしますが、国立社会保障人口問題研究所（社人研）が推計した数値（赤色）、合計特殊出生率を1.19で推計（青色）、合計特殊出生率が1.8に上がったと仮定した場合の中位の推計（黄色）、合計特殊出生率を国が日本の人口が1

	億人を維持できると示している数値である 2.07 の高位の推計（緑色）の 4 パターンで現在推計値を出しております。こちらの推計をどのような形で長期ビジョンに載せるかは今後検討してまいりたいと考えております。 続いて総合戦略でございますが、こちらは資料 2-1 の下の段をご覧ください。まず、「基調となる考え方・視点」ですが、上尾市の個性や魅力を生かしながら、魅力的で安全・安心な地域を作るとともに、デジタル技術も活用しつつ、地域の課題解決にあたって、将来における人口減少を可能な限り抑制するという視点で進めてまいります。今回「デジタル技術も活用しつつ」というところを盛り込みたいと考えております。 「地域ビジョン、地域が目指すべき理想像」ですが、これは現在の第 6 次上尾市総合計画の将来都市像であります「みんなでつくる、みんなが輝くまち あげお」ということで、現在の総合戦略から変更はございません。計画期間は令和 8 年度から令和 12 年の 5 年間で、こちらは第 6 次上尾市総合計画の後期基本計画と同じ期間でございます。 基本目標ですが、現行の戦略と同じ 3 つの柱「活力にあふれたにぎわいあるまちづくり」「明日を担う人が育つまちづくり」「魅力があり安心して暮らすことができるまちづくり」ということで変更なしで考えております。しかしながら、それぞれについての数値目標につきましては変更の予定がございます。施策・事業、重要業績評価指標（KPI）、総合戦略の進行管理ですが、現在、同時並行で第 6 次総合計画の後期基本計画の策定を進めておりますので、後期基本計画に位置付ける施策・事業、数値目標を見ながら、KPI 等も整合を図ってまいりたいと考えております。また、後期基本計画における重要政策、重点事業として、総合戦略についても総合計画の後期基本計画の進行管理と一体的に実施していきたいと考えております。 なお、2 ページ目は、現行の第 6 次総合計画や現在の第 2 期長期ビジョン・総合戦略とこれから策定する第 3 期長期ビジョン・総合戦略の計画期間の関係を示したものでございます。 そして最後の 3 ページ目は現行の第 2 期長期ビジョンと総合戦略の体系をまとめたものでございます。資料 2-2 第 3 期上尾市地域創生長期ビジョン総合戦略の視点や構造（案）は、今ご説明した内容を細かく記述したものでございますので、後ほどご覧いただければと存じます。次期総合戦略の基本的な視点や構成等についての説明は以上でございます。
佐藤会長	はい。ありがとうございました。それでは、ただいまの事務局の説明につきましてご意見・ご質問等ございましたらお願いいたします。坂田委員どうぞ。
坂田委員	今次期計画に載せようとされているのは、社人研ベースで合計特殊出生率を 3 パターン変えたもののご説明だったと思いますが、一方で、資料 2-2 を見ると、今の推計のグラフがある一方で、現状のグラフが 6 ページにあって 2023 年まで見るとかなり前回の推計から上振れして推移しているようで、これはおそらく合計特殊出生率というよりは社会増減の上振れが反映されているのだと思うのですが、そこら辺の社会増減の見込みの上振れや下振れの調整はするのかしないのか教えていただければと思います。
佐藤会長	事務局お願いいたします。

事務局 (角田課長)	資料 2-2 の方は、ご指摘のとおり、社会増減ということも含まれた数値となっていますが、今後の長期ビジョンにつきましては、長期の話になるため、基本的には社人研ベースで考えております。
坂田委員	社人研がどこまで上尾市固有の社会増減を見込んで推計しているかは、前回令和 2 年の時に使った推計からの乖離を見るとかなり怪しいような気もしますが、それでも基本的には社人研をベースに取り組むというご説明ということで理解すればいいですか。
事務局 (角田課長)	そのとおりでございます。
坂田委員	はい。わかりました。
佐藤会長	他にございますか。樋口委員どうぞ。
樋口委員	1 点確認と質問をさせていただきたいのですが、この総合戦略の部分で新しいところと言うとデジタル技術も活用しつつというところが盛り込まれるというお話があったかと思いますが、基本的には総合計画の後期基本計画に則っているということでもいいか確認です。 もう一つ質問としては、先ほどのデジタル活用の部分で資料を見させていただくと 4 ページの部分で、何らかの形でデジタル活用について触れる必要があると書いてありますが、具体的にはどういうことを想定しているのか分かればお願いします。
佐藤会長	はい。2 点いただきました。事務局お願いします。
事務局 (角田課長)	これから案を作ってまいりますので、今の段階ではっきりとしたものをご用意できないのですが、先ほどありましたように上尾市が総合戦略で取り組んでいく子育てや防災、教育等のところで、デジタルという考え方を盛り込むという風に考えております。
佐藤会長	樋口委員よろしいでしょうか。
樋口委員	1 点目の確認の部分の方のお答えがなかったのかなと。
事務局 (角田課長)	総合計画との整合性を確保すると説明でも申し上げましたが、今後後期基本計画が固まったら、そこから総合戦略に持ってくる構成となっております。
樋口委員	総合計画の方が上位計画になると思うので、そこが決まった段階で下りてくるという部分だと思うので、例えばデジタル技術の活用というところも総合計画に入ってくるということでよろしいですね。
事務局 (角田課長)	現在作業中でございますが、そのような認識でおります。
佐藤会長	デジタルの活用に関しては検討中とのことでしたが、何か具体的な案と

高橋委員	というのは全くないのでしょうか。スマートシティ等、上尾市として考えられるデジタル活用というのは、これからということで白紙の段階なののでしょうか。国のデジタル田園都市国家構想を受けているので、何らかのデジタル活用について触れる必要があると読み取ってはいるのですが、状況としてはどのような感じでしょうか。 デジタル活用の一例かわからないですが、私はPTAの枠で出ているので、PTAの連絡が学校からさくら連絡網というツールで送られてくるようになったり、あげお健康＋（ぷらす）をやっていたりしますが、これが結構な市民に知れ渡ったら、市民に一律に情報提供できると個人的には思っている。下手したら自治会とかの回覧板がなくなって、市からのご案内は全部そういうもので来るようになったりするのかと思っている。広報あげおに変わって、デジタル版のように配信されてきたりするのかなと思っているのですが、もし参考になれば上にあげていただければいいですし、一意見というか感想でございます。
事務局 （角田課長）	高橋委員がおっしゃったとおり、あげお健康＋は昨年度から実施しており、様々な電子申請も市の方でも進めておりますので、子育ての分野や防災の分野等、いろいろな分野のところでデジタルが盛り込まれていくと考えております。
佐藤会長	私が聞きたかったのは、新規で何か取組があるのかと思って、伺えたらと思っています。他にご質問ご意見等ございませんか。井上委員お願いします。
井上委員	新しい計画は今年度中に策定して令和８年度に向かうということなのかという確認と、子育て世代の施策等を考える上で上尾市の世帯の人数の統計というのは、どこかで発表されているのでしょうか。お子さんの数が何人や18歳以下のお子さんがある家庭は、お子さんが何人いるか等、何か国勢調査等の結果を見て確認できるものがあるのかをお聞きしたいです。
佐藤会長	２点ありましたのでお願いいたします。
事務局 （角田課長）	１点目の総合戦略につきましては、今年度策定する予定となっております。
事務局 （本郷次長）	２点目の年齢別人口等につきましては、年に１回市の方で統計あげおというものを発行していて、３ヶ月に１回市の総務課のホームページで人口の推移というページがございます。そこに年齢別というものもございますので、ご覧いただけたらと思います。
井上委員	世帯の構成も入っているのでしょうか。
事務局 （本郷次長）	世帯別の構成までは入っていないです。
井上委員	わかりました。

事務局 (本郷次長)	国勢調査の結果では、世帯の構成は出ております。
佐藤会長	井上委員よろしいですか。
井上委員	はい。
佐藤会長	他にご意見ご質問ございますか。なければこの件は閉じさせていただきます。次は議題3「その他」になります。事務局から何かございますか。
事務局 (角田課長)	事務局から1点お願いがございます。委員の皆様の任期につきましては、今年の7月9日までとなっております。改選にあたりまして、事務局といたしましては、これから第3期長期ビジョン・総合戦略の策定を控えておりますので、引き続き皆様をお願いしたいと考えております。よろしくお願いいたします。以上でございます。
佐藤会長	はい。ありがとうございました。その他を含めて今日の議題3つ全て終わりましたので、進行を事務局にお返しいたします。
司会 (本郷次長)	佐藤会長ありがとうございました。委員の皆様も様々なご意見をいただきまして大変ありがとうございました。それでは最後に本田副会長から閉会のごあいさつをお願いいたします。
本田副会長	【閉会あいさつ】